

	牧師 山本護	司式 福田奈里子	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃 美 歌	145 めぐみのときの		讃 美 歌 133 夜はふけわたりぬ
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	詩編 42:11~12 マルコによる福音書 14:32~42		黙 禱 主の祈り 564
讃 美 歌	138 ああ主はたがため		頌 栄 539 あめつちこぞりて
説 教	『イエスの祈り、葛藤と呻き』		祝 禱 後 奏

あの夜、ゲッセマネで祈るイエスと弟子との距離はふた通りあった。遠くは「イエスは弟子たちに〔わたしが祈っている間、ここに座っていなさい〕とされた(マルコ 14:32)」。近くは「そしてペトロ、ヤコブ、ヨハネを伴なわれた(14:33)」。三人の弟子には自分の弱さを隠さず、「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、目を覚ましていなさい(14:34)」と命じた。そこからイエスは、「少し進んで行って地面にひれ伏し、できることなら、この苦しみの時が自分から過ぎ去るようにと祈った(14:35)。

暗闇の奥でイエスは独り祈っている。イエスと三人の弟子はどのくらい離れているのか。また他の弟子たちまではどのくらいの距離なのか。遠くの弟子たちは気づかないが、三人の弟子は「ひどく恐れてもだえる(14:33)」姿を見た。とはいえ、イエスの激しい葛藤(14:35)までは、知りようがなかった。

おおよそ「世の救い主」らしからぬイエスの怯え。苦しむはずのない神の御子が、これほどに苦しんでいる。三人の弟子には「目を覚ましていなさい(14:34)」と、悲惨な結末を見届けるよう命じたが、彼らとて無理解な弟子だ。ここに至る過程で、十字架を諫めたペトロは激しく叱られ(8:32~33)、ヤコブとヨハネは十字架の予告(10:34)を勝利の栄光話にすり替えて(10:37)、現実から目をそむけた。

十字架が御心だと分っても、不可解な死が間近に迫れば受け入れがたい(14:35)。イエスは「アッパ、父よ、あなたは何でもおできになります。この杯をわたしから取りのけてください(14:36a)」と祈る。「アッパ=父ちゃん」と呼びかけ、神と一体であることを示しながら、あくまで人間の地平で人間の弱さを負っている御子の姿が痛々しい。孤独で激しいイエスの祈りは、激しい葛藤を抱えたまま「しかし、わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように(14:36b)」と一端は納まる。

暗闇の奥、イエスの孤独な苦しみは分らずとも、弟子たちは「ここを離れず、目を覚ましていなさい(14:34)」という言いつけを守れなかった。眠りこけてしまったのだ(14:37)。イエスの激しい葛藤と呻きはそこからまだ続くが(14:39,41)、それでも弟子たちは幾度となく眠りこけてしまった(14:40,41)。

弟子たちの「心は燃えていても、肉体は弱い(14:38)」。つまり心は肉体に負けてしまう。イエスも心は「アッパ=神と一体」であるが、肉体は弱い人間として激しく葛藤し呻いた。そして時が来ると決意して(14:41)、「わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われる」道へと歩みを進めた。

「わたしを苦しめる者はわたしの骨を砕き、絶え間なく嘲って言う。〔お前の神はどこにいる〕と(詩編 42:11)」。私たちの苦しみや混乱、迷いや葛藤は「お前の神はどこにいるのだ」という問いとして私を脅かす。私たちはこの恐ろしい問いに揺さぶられるが、キリストが私の罪と混乱を十字架で負い、私自身となり、私としてこう答えて下さる。「なぜうなだれるのか、わたしの魂よ、なぜ呻くのか。神を待ち望め。わたしはなお、告白しよう。〔御顔こそ、わたしの救い〕と。わたしの神よ(42:12)」。

「わたしが願うことではなく、御心に適うことが行われますように(マルコ 14:36)」。一人ひとりの苦しみや閉塞は、人間の狭い願いを超える御心として開かれる。私たちはイエスのように祈ることができない。だがキリストが私自身として祈って下さっている。私たちは目覚めてそんなキリストを見たい。

言葉は聞き取れないが苦しむ気配は分る キリストは絶妙な距離で祈っている 人々の地平に降った方がそこを離れられないでいる なおも私たちと共にいようというのか それがキリストの葛藤
本日礼拝後に役員会を開きます。次主日 4/10 は受難週、4/17 は復活祭で聖餐式をします。4/24 の礼拝後に総会をおこないます。会員の方は予定して下さい。4/9(土)1:30~3:00 聖書研究会。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。